

加西市歴史文化遺産保存活用地域計画の骨子

市費・市補・市事業・市補助、文補：文化庁 土補：国土交通省、経補：経済産業省、補助 地補：地方創生推進交付金	市民・加西市民及び歴史文化の保存・活用に関心を寄せる出身者 ◎ 主として取組む ○ 協力して取組む △ 一部を取組む	短期 3年 県補・県民補、県、県民局補助 中期 5年 団体：団体自己資金 後期 10年 地：財団補助、ふるさと納税	※概ね3年 3年の 目標値
--	---	---	---------------------

保存と活用に関する課題	保存・活用に関する基本方針	事業名	事業内容	取組主体			事業計画期間			財源		KPI（成果目標値）	
				行政	団体	市民	短期	中期	後期	内容	目標値		
				◎	○	△							
課題1 遺産の把握に係る課題	<p>目標</p> <p>◆加西らしい歴史文化を受け継ぎ、歴史文化を活かして豊かな生活環境をつくり、次世代に受け継ぎ、地域活力を向上させる</p> <p>方針1 歴史文化を身近に想う</p>	方針1-1 調べる	1 調査計画の作成	歴史文化遺産調査を進めるための調査計画を作成	◎					市費	調査計画	作成	
①学術調査等による価値付けができていない歴史文化遺産が残されており、継続的な調査が必要とされる。		2 史料のデジタル化	大規模災害に伴う史料遺失に備え古文書のデジタル化を実施	◎		○				市費	調査文書群数	3	
		3 先端技術の活用による調査	GIS・レーザー測量・3D等の活用による調査の推進	◎	○					市費	調査実施数	3	
②歴史文化遺産の調査結果情報の一元化が進んでいない。また、火災などに対応するための資料のデジタル化が進んでいない。		4 古地名・故地の記録と復元	古地名や故地の地理情報を記録、かつての加西の景観復元に活用	○	◎	△				市費・市補・団体	-	-	
		5 水場・利水・天下溝等調査	水場・利水・天下溝の調査で交流の場、聖地の記憶の記録化	○	◎	△				市費・市補・団体	-	-	
		6 『加西市史』の補足調査	村堂・小祠等の小型近世建造物及び古文書・出土品・収蔵物の調査	◎	○	○				市補・団体	-	-	
		7 市民による歴史文化遺産調査の支援体制整備	地域住民による地域の歴史研究を支援し、地域史を編纂	◎	◎	○				市補・団体	-	-	
		8 文化財ハザードマップの整備	市の防災地図を参照した文化財防災計画の検討	◎	○	○				市費	-	-	
		9 歴史文化遺産データベース化(GIS・レーザー測量・3D等の活用)	調査した歴史文化遺産のデータベースの作成・情報の一元化	◎	△	△				市費	-	-	
		10 五丘古墳群の調査	史跡整備に並行して必要な調査の実施	◎	△	○				文補	-	-	
		11 石造物と石の産業史の調査	近世・近代の石仏、道標調査、石工周辺情報検証による産業史調査	◎	○	△				市費・市補・団体	-	-	
	課題2 価値・魅力の認識に係る課題	方針1-2 学ぶ	12 シンポジウム・講座の開催	市民が歴史文化遺産の魅力を理解できるような取り組みを実施	◎	○	○			市費・市補・文補・団体	開催回数	3回	
①歴史文化遺産の価値や魅力が市民に十分に伝わっていない。	13 歴史ウォークの開催	歴史文化遺産を歩くことで立地や景観も含め体感する機会を提供	○	◎	○				市費・県補・団体	開催回数	3回		
	14 石彫ワークショップの開催	石工の伝統工芸を学び北条石仏等石造物の魅力を発信	○	◎	○				市費	開催回数	3回		
②歴史文化の保存・活用のための担い手が減少している。	15 地域の歴史文化の担い手育成支援体制整備	観光ガイド育成など次世代の歴史文化の担い手育成、支援	○	◎	○				市費・市補・文補	受講者数	15人		
	16 歴史文化学習メニューの作成	小中学校向けの歴史文化に関するメニューの作成	◎	○	○				市費	-	-		
	17 (仮称)市民学芸員養成講座の開講	地域の歴史文化のリーダー的人材の育成を目的とした講座開催	◎	○	○				市費・文補	-	-		
課題3 保存・活用主体に係る課題	方針1-3 考える	18 地域の計画や体制づくり等の支援体制整備	専門家の派遣など地域における計画づくりへの支援を実施	◎	○	△			市費	計画策定数	1地区		
①保存・活用に係る主体の明確化・主体間の連携が不十分で取り組みの効果が限定的である。	19 地域主体の歴史文化遺産の保存・活用	まちづくりに取り組む団体による歴史文化遺産の保存・活用	○	◎	○				市費・市補・文補・地補交・団体	保存活用件数	1件		
	20 相談窓口の設置	歴史文化保存・活用のための市民向け相談窓口の設置	◎	○	△				市費	-	-		
	21 多様な主体が参加する協議会の設置	歴史文化に関わる主体が集い、話し合える場を設置	◎	○	△				市費	-	-		
課題4 遺産の環境整備に係る課題	方針2-1 整える	22 史跡五丘古墳群の整備	史跡五丘古墳群の継続的整備	◎	○	○			市費・文補	整備計画	見直し		
①歴史文化遺産の整備・補修・修理・修繕に係る資金面の負担が大きく、老朽化の進行や魅力づくりの取組みが十分ではない。	23 史跡公園の整備	史跡公園を市民のいこいの場として拠点化整備	◎						市費	施設の修繕	完了		
	24 五百羅漢観光整備事業の推進	羅漢石仏の保護と観光拠点化の推進	○	◎	△				県補、その他補	来館者数	1万人		
	25 北条地区の景観形成事業の実施	道路美装などの景観形成事業の実施	◎	○	△				市費・県補・土補	事業数	3件		
	26 文化財の指定・登録等	新たな指定・登録の推進	◎	○	○				市費・市補・団体	新指定・登録	9件		
	27 指定・登録文化財の修繕	老朽化した指定・登録文化財の修繕及び美装を実施	◎	◎					市補・文補、地補交、県補	修繕件数	3件		
	28 指定等文化財の解説版の改修・増設	老朽化した解説版の改修、新たな文化財の説明板増設	◎	○	△				市費	改修・増設	9件		
	29 歩く文化財パトロール支援	市民が歩きながら文化財防犯を進めるルートマップ作成	○	○	◎				市費	ルート作成件数	1件		
	30 (仮称)「地域の宝」登録制度創設	未指定の文化財の保存・活用のための市独自の制度を創設	○	◎	○				市費	-	-		
	31 鶺鴒飛行場跡地及び周辺地域の整備	鶺鴒飛行場跡地・地域活性化拠点施設の整備	◎	○	△				市費・地補交	-	-		
	32 交通ネットワークの検討・整備	北条鉄道、路線バス、コミバス、自転車等のネットワーク化	○	◎	△				市費・団体、土補	-	-		
②指定等を受けていない歴史文化遺産の滅失の危機・防災体制の拡充	33 景観形成等住民協定の締結推進	県条例に基づく景観形成重要建造物の指定等の推進	○	◎	◎				市費・県補・団体	-	-		
	34 防犯設備の整備	監視カメラ等の設置の推進	○	◎	△				市費・市補	-	-		
	35 防火訓練の実施	火災等に対応できるような防火訓練の実施	○	◎	◎				市補・県補	-	-		
課題5 魅力発信に係る課題	方針2-2 発信する	36 市のホームページの歴史文化情報の拡充	市のホームページのリニューアルによる歴史文化遺産の魅力発信	◎	○	△			市費	情報発信回数	10%増		
①加西市の歴史文化の価値や魅力が市の内外に発信されておらず、十分に認識されていない。 ②歴史文化遺産の収益構造の確立が必要とされている。	37 スマートホンアプリの利用の拡充	加西ナビの機能およびコンテンツの拡充	◎						市費・地補交				
	38 先端技術を活用した魅力発信方法の検討	AR(拡張現実)、VR(仮想現実)、VR(仮想現実)ドローン空撮等の活用	◎	◎	○				市費・文補、地補交				
	39 出身者・来訪者による魅力発信の仕組みづくり	SNS等を活用した魅力発信の仕組みづくり	○	◎	◎				市費				
	40 歴史文化遺産ビューポイント活用による魅力発信	歴史文化遺産の全景やインスタ映えポイントの設定	◎	◎					市費・県補、県民補	設定数	3箇所		
	41 ふるさと納税充当事業活用による情報発信拡充	歴史文化遺産へのふるさと納税事業充当の拡充	◎						市費	充当件数	3件		
	42 歴史文化に関する多言語パンフの作成	加西市の特徴的な歴史文化を紹介する多言語パンフの作成	◎	◎	○				市費・文補、地補交	パンフ作成	作成		
	43 案内板・解説版の多言語化	指定文化財等の案内板等の多言語化推進	◎	◎	○				市費・文補	-	-		
	44 活動団体顕彰制度の創設	歴史文化保存・活用団体への顕彰制度の創設・運用	◎	◎	○				市費	-	-		
45 取組み事例集の作成・発信	市民向けの歴史文化保存・活用の事例集を作成・発信・活用	◎	◎	○				市費	-	-			
46 (仮称)「子ども観光大使」の認定制度の創設	子どもたちの観光ガイドの取り組みへの認定制度の創設	◎	◎	○				市費	-	-			
課題6 活用に係る課題	方針2-3 使いこなす	47 関連文化財群の周知	パンフレット、広報紙等による関連文化財群の周知	◎	○	○			市費・団体	認知度	60%		
①歴史文化遺産相互のつながりの周知が十分ではなく、活用の効果が限定的である。	48 歴史文化観光メニューの検討	歴史文化を活用した着地型観光メニューの企画・推進	○	◎	○				市費	企画・開催数	3回		
	49 関連文化財群のマップづくり	「播磨国風土記」をテーマとしたドライブインルート・標識の拡充	○	◎	△				市費・団体	標識設置	3件		
②歴史文化遺産活用のための主体間・県や近隣との連携が十分ではない。	50 庁内関係部局の連携・調整体制の整備	歴史文化遺産を活用した各種事業の連携・調整の推進	◎	○	△				市費・県補	連携事業数	1件		
	51 近代化遺産ウォーキングルートの整備	奉天池から飯盛野疏水沿いの近代化遺産をめぐるルート整備	○	◎					国補・県補	ルート整備	開始		
	52 地区の関連文化財群の検討支援	市民による関連文化財群の検討支援	○	◎	◎				市補・団体	-	-		
	53 近代化遺産施設の活用	鶺鴒飛行場跡地の活用	◎	◎	○				市費・地補交、県補	-	-		
	54 歴史文化遺産を活かした収益構造の確立	歴史文化遺産を活かした所有者や周辺での収益確保の取り組み推進	◎	○	○				市費・市補・団体	-	-		
	55 県や近隣市町連携による広報展開	石の文化、播磨国風土記、西国巡礼等特定テーマの広域連携の推進	◎	◎	△				市費・県費	-	-		
	56 歴史資料の活用イベント等の企画・開催	歴史資料を活用した展示会等の企画・開催	◎	◎	△				市費・市補、経補	-	-		
57 地域ブランドづくり	歴史文化を活用した加西市地域ブランドの企画・事業化	○	◎	◎				市費・県補	-	-			